

令和4年度 三条市地域公共交通利用状況

《目 次》

1	デマンド交通ひめさゆり利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P. 1
2	高校生通学ライナーバス利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P. 5
3	井栗地区コミュニティバス利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P. 6
4	循環バスぐるっとさん利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P. 7
5	集計結果の考察と今後の改善策	・ ・ ・ ・ ・	P. 11

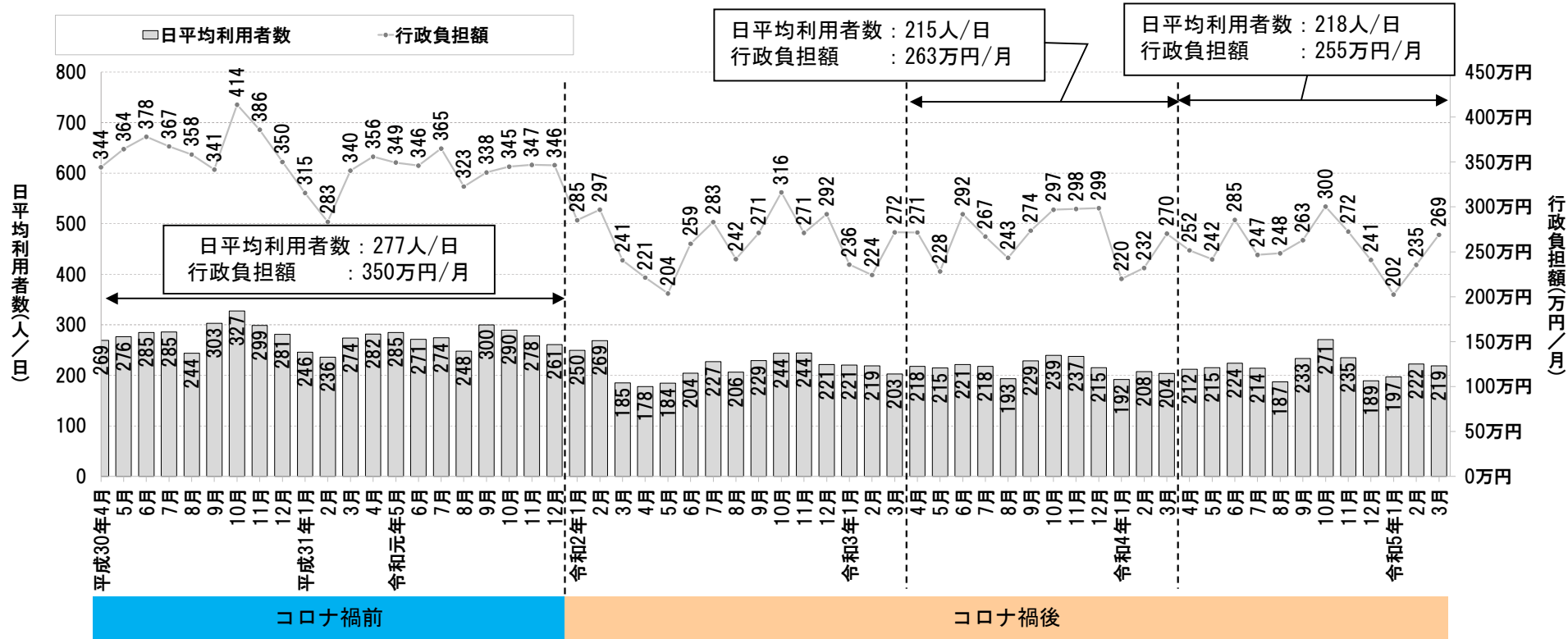
令和5年5月31日～6月7日(書面協議)
三条市地域公共交通協議会

1 デマンド交通ひめさゆり利用実績

(1)利用者数と行政負担額の推移(令和4年度・平日)

- 「ひめさゆり」の利用者数は、約218人/日、行政負担額は、約255万円/月で、令和3年度(利用者数:215人/日、行政負担額:263万円/月)と比較して、横ばいとなった。
- 一方で、コロナ禍前(利用者数:277人/日、行政負担額:350万円/月)と比較して未だ回復は見られない。

→コロナ禍に入り3年以上が経過したが、引き続き新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けたと言える(利用者数はコロナ禍前比で約20%減のまま推移)。



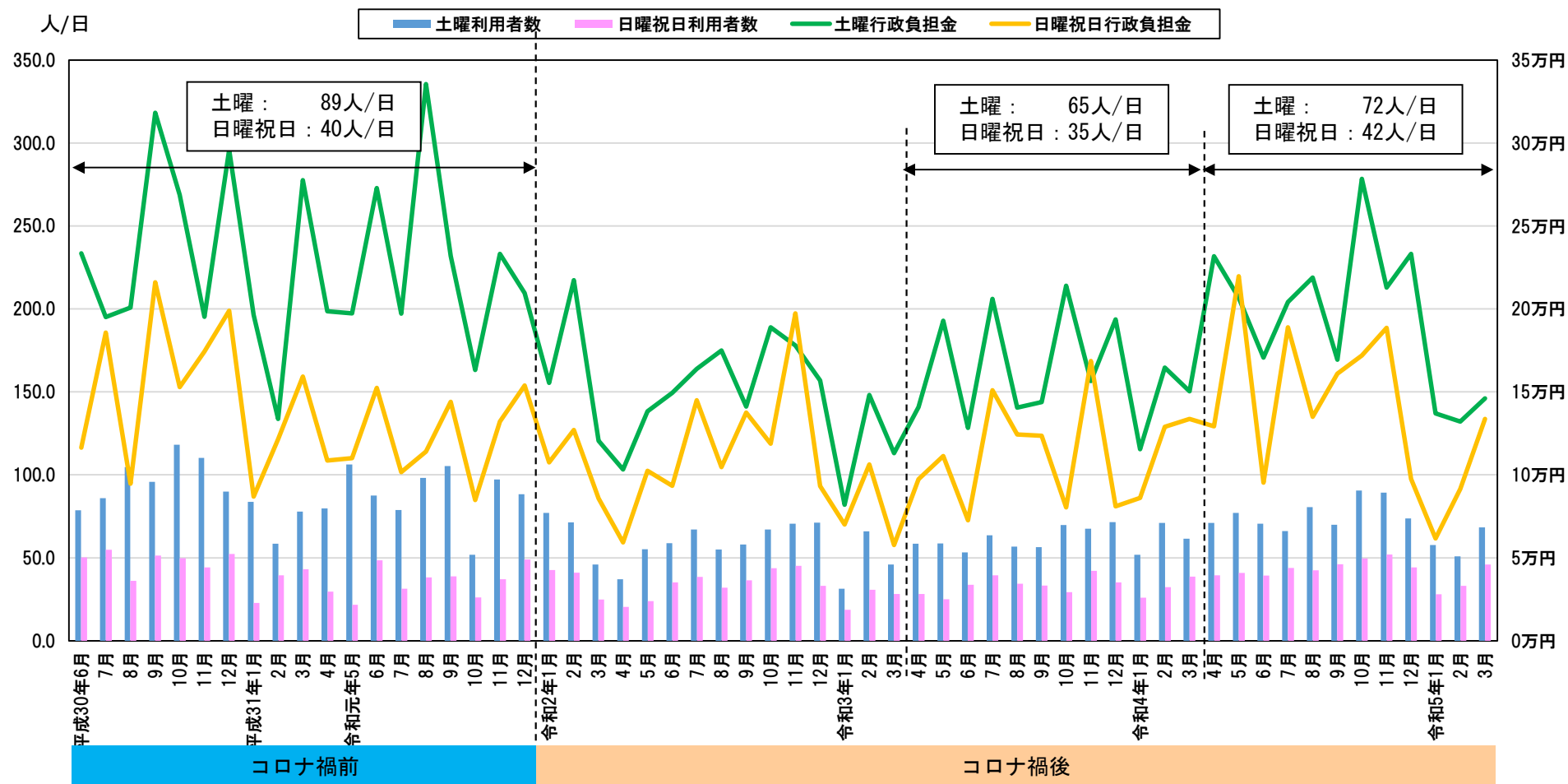
※デマンド交通ひめさゆり日報に基づき集計

参考: R4年度目標値 180人以上/日(全日)
40人以上/日(土曜日) 15人以上/日(日・祝日)

1 デマンド交通ひめさゆり利用実績

(2)利用者数の推移(令和4年度・土日祝日)

- 令和4年度の土曜の平均利用者数は約72人/日、日曜祝日は約42人/日となった。
- 令和3年度の利用者数(土曜:約65人/日、日曜祝日:約35人/日)と比較して土曜・日曜祝日ともにやや回復傾向にあった。コロナ禍前と比較し日曜日は同程度まで回復した。

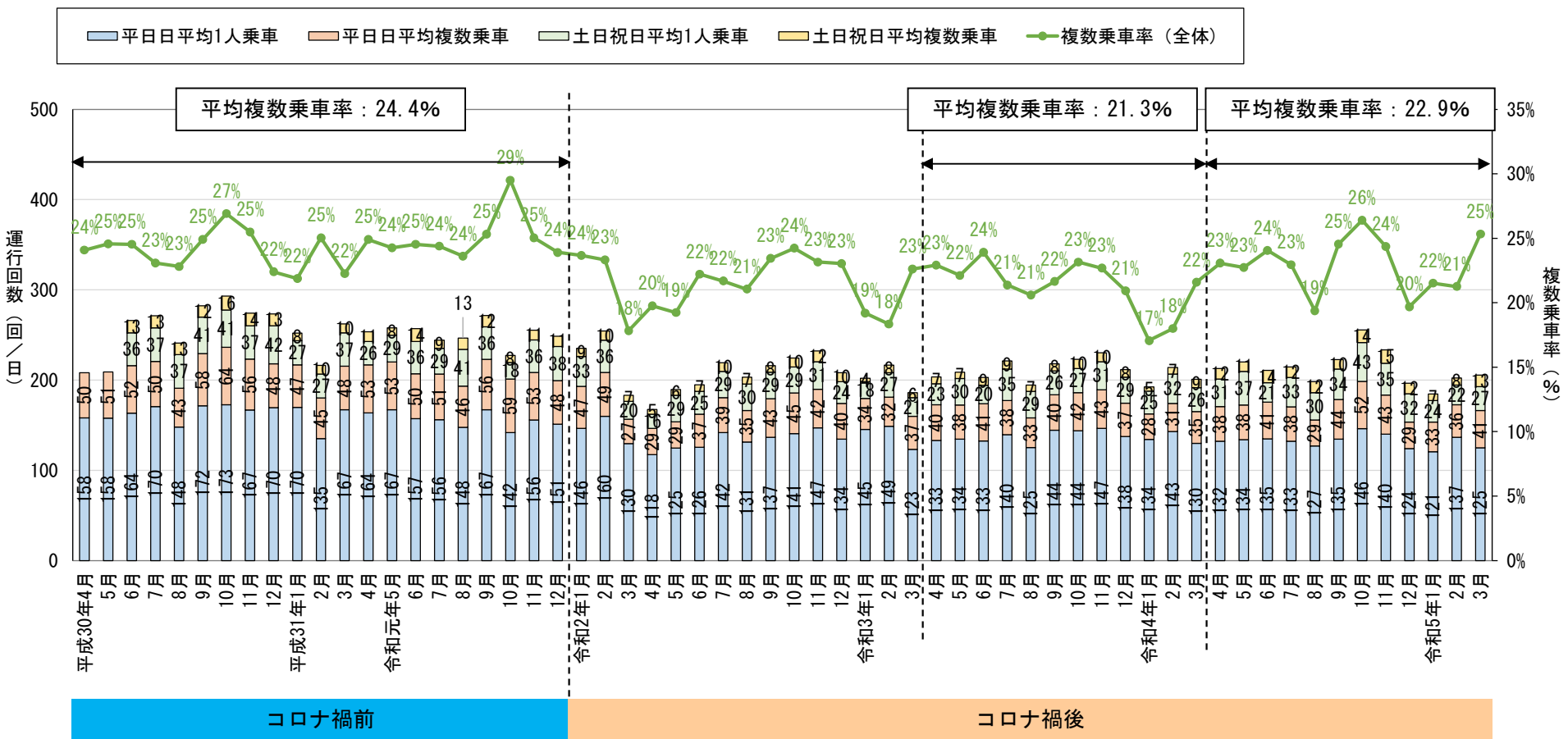


※デマンド交通ひめさゆり日報に基づき集計

1 デマンド交通ひめさゆり利用実績

(3) 複数乗車率の推移(令和4年度)

- 令和4年度の年間平均の複数乗車率は約22.9%で、令和3年度(21.3%)と比較すると、増加傾向となった。
- コロナ禍前(24.4%)の水準と比較して、未だ低いものの回復傾向にある。

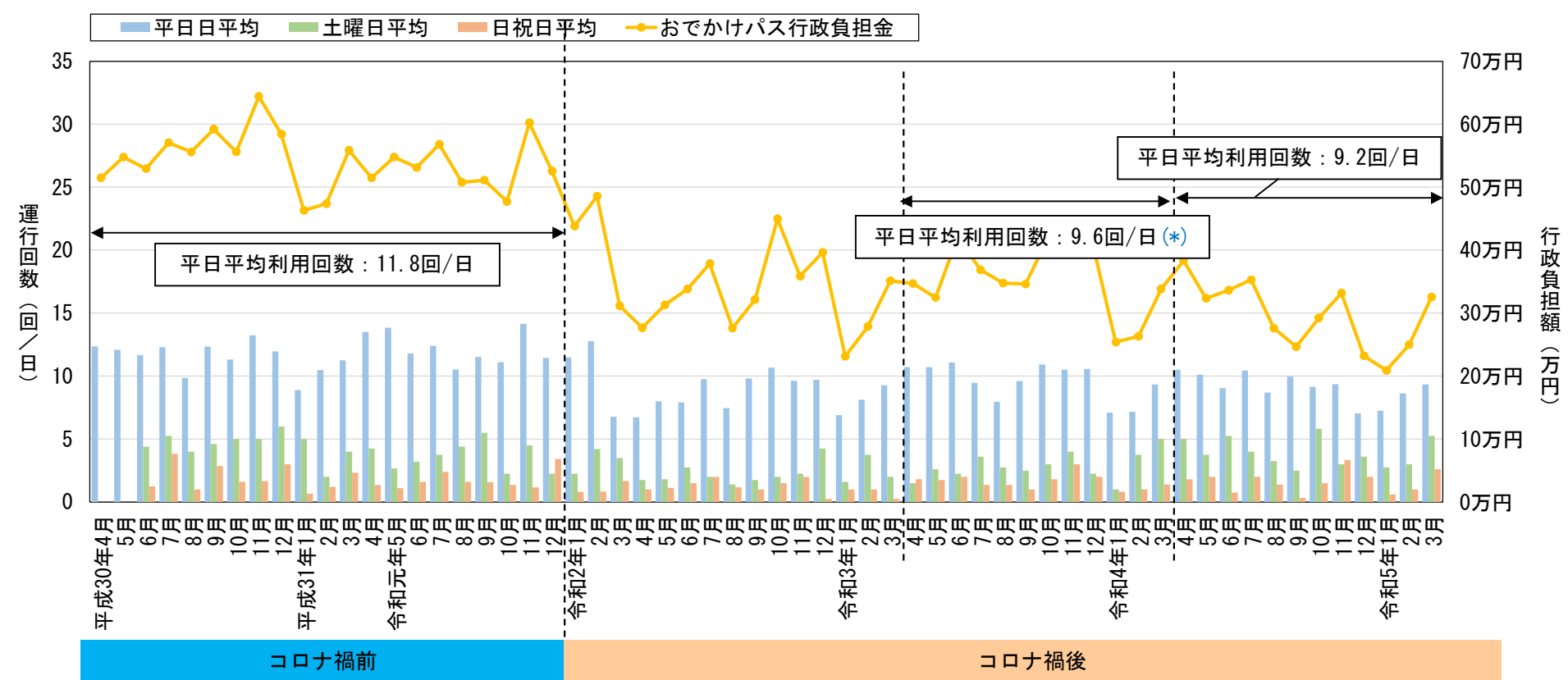


※デマンド交通ひめさゆり日報に基づき集計

1 デマンド交通ひめさゆり利用実績

(4) おでかけパスの利用実績(令和4年度)

- 平日のおでかけパスの利用回数は9.2回/日と微減、土日祝日は1~6回/日と横ばいで推移した。
- コロナ禍前の平日の利用回数(11.8回/日)までの回復は見られない。



おでかけパス発行枚数 (令和4年度) : 293枚、協賛店店舗数 : 53店舗 (R5.3月時点)
 【参考】おでかけパス発行枚数 (令和3年度) : 289枚、協賛店店舗数 : 61店舗 (R4.3月時点)

※デマンド交通ひめさゆり日報に基づき集計

(*)実績値更新により令和4年度第一回協議会報告時の平日平均利用回数 : 9.3回/日から修正

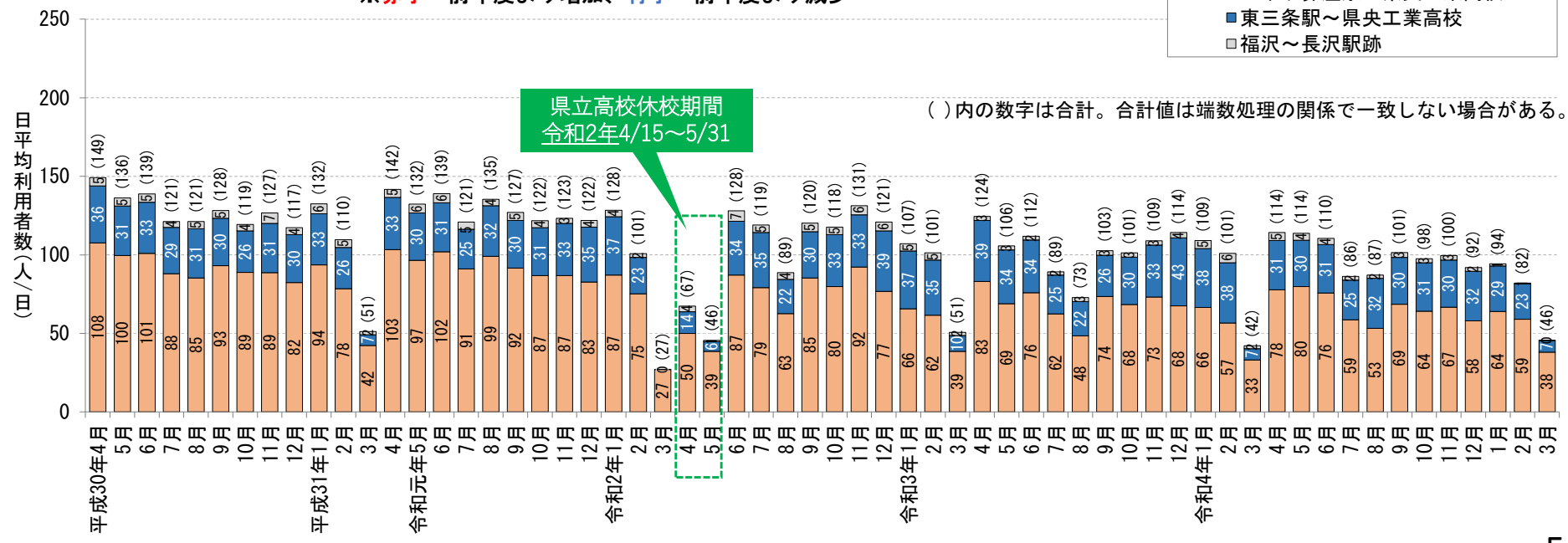
2 高校生通学ライナーバス利用実績

利用者数の推移(令和4年度)

- 平均利用者数は91.4人/日で、令和3年度(97.0人/日)と比較して減少傾向となった。
- 福沢線についても利用者が減少傾向となった。

	八木ヶ鼻温泉～県央工業高校	東三条駅～県央工業高校 (補助対象路線) ※八木ヶ鼻温泉～県央工業 高校の内数	福沢～長沢駅跡 (補助対象路線)
平成30年4月～平成31年3月	116.6人/日	28.7人/日	4.9人/日
平成31年4月～令和2年3月	118.9人/日	30.1人/日	4.4人/日
令和2年4月～令和3年3月	96.8人/日	27.7人/日	4.5人/日
令和3年4月～令和4年3月	97.0人/日	31.1人/日	3.1人/日
令和4年4月～令和5年3月	91.4人/日	27.1人/日	2.6人/日

※赤字：前年度より増加、青字：前年度より減少

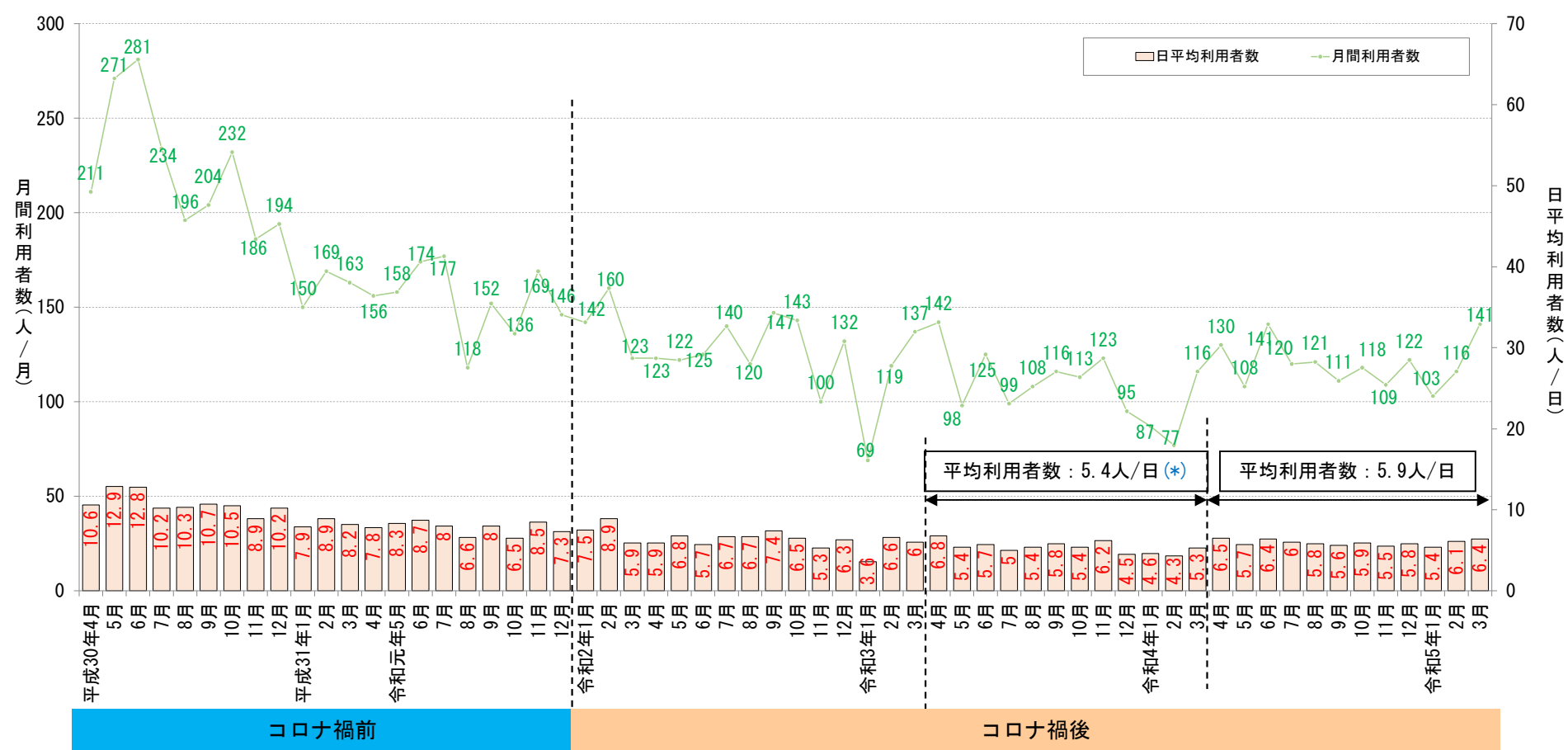


※高校生ライナー利用実績に基づき集計

3 井栗地区コミュニティバス利用実績

利用者数の推移(令和4年度)

- 平均利用者数は5.9人/日であり、令和3年度(5.4人/日)と比較し、微増となった。
- コロナ禍前から利用者数が減少傾向にあり、7.7人/日(令和元年度)、10.2人/日(平成30年度)、コロナ禍後も減少傾向が続いた(6.1人/日(令和2年度))。



※井栗地区コミュニティバス利用実績に基づき集計

(*) 誤謬により令和4年度第一回協議会報告時の平均利用回数：5.9人/日から修正

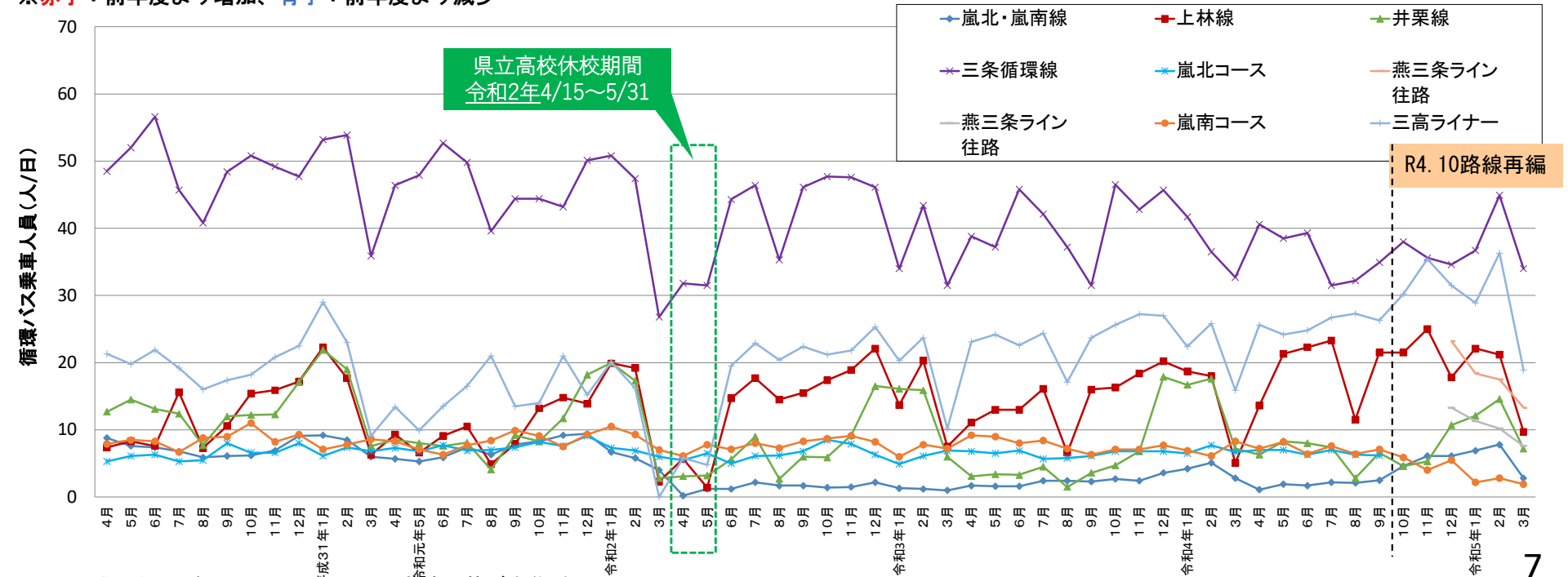
4 循環バスぐるっとさん利用実績

(1) 利用者数の推移(令和4年度)

- 令和3年度と比較し、嵐北・嵐南線、上林線、井栗線、三高・県央工業ライナーは増加傾向となった。
- R4.10月新設の燕三条ラインは市立大学の朝の通学に利用される往路の利用が多い。

	嵐北・嵐南線 (Aコース)	上林線 (Bコース)	井栗線 (北コース)	三条循環線 (南コース)	嵐北コース ※R4.10廃止	燕三条ライン 往路	燕三条ライン 復路	嵐南コース	三高・県央 工業ライナー (三高ライナー)	全体
平成30年4月～平成31年3月	7.4人/日	13.1人/日	13.5人/日	48.6人/日	6.5人/日			8.4人/日	19.9人/日	117.4人/日
平成31年4月～令和2年3月	6.8人/日	11.0人/日	10.3人/日	45.3人/日	7.4人/日			8.4人/日	14.5人/日	103.6人/日
令和2年4月～令和3年3月	1.4人/日	14.1人/日	8.3人/日	40.5人/日	6.4人/日			7.6人/日	18.2人/日	96.5人/日
令和3年4月～令和4年3月	2.7人/日	14.4人/日	7.5人/日	39.9人/日	6.6人/日			7.6人/日	23.3人/日	102.0人/日
令和4年4月～令和5年3月	3.8人/日	19.2人/日	7.8人/日	36.7人/日	6.6人/日	18.1人/日	10.6人/日	6.0人/日	25.3人/日	134.2人/日

※赤字：前年度より増加、青字：前年度より減少

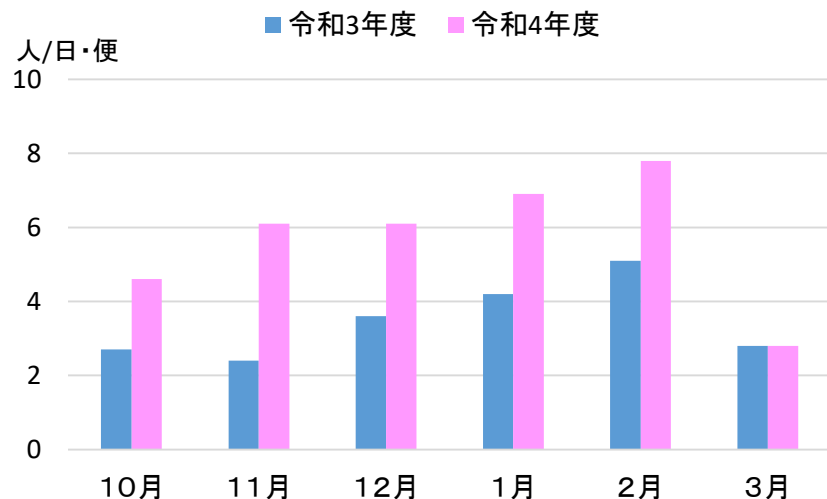


※市内循環バスぐるっとさん利用実績に基づき集計

4 循環バスぐるっとさん利用実績

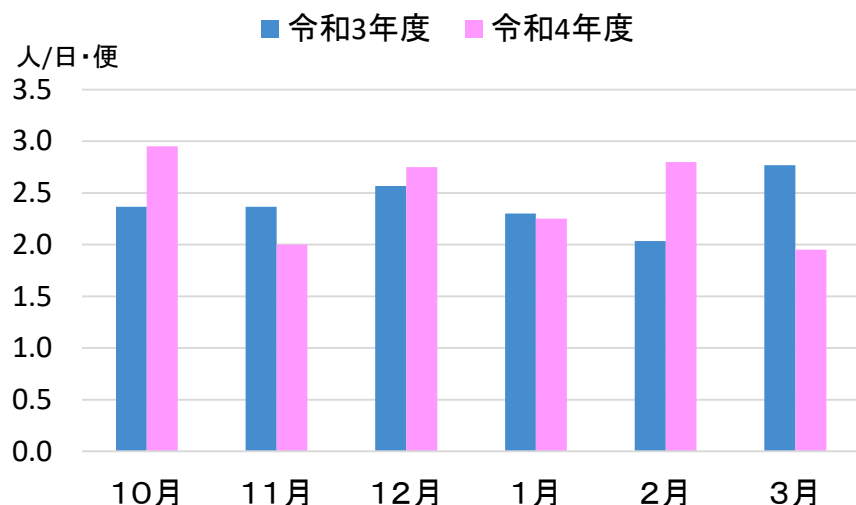
(2)利用者数の詳細分析(令和4年度路線再編後と令和3年度の比較)

■ 嵐北・嵐南線(旧Aコース)



- 通勤・通学にかかる電車との乗り継ぎを考慮し、運行時刻とルートの変更を実施
- 春休みにあたる3月以外の全ての月で利用者が増加

■ 嵐南コース



- 日中の10時台の1便を廃止(3便中1便)
- 各月の平均利用者数はほぼ横ばいで推移(2月は増加、3月は減少)

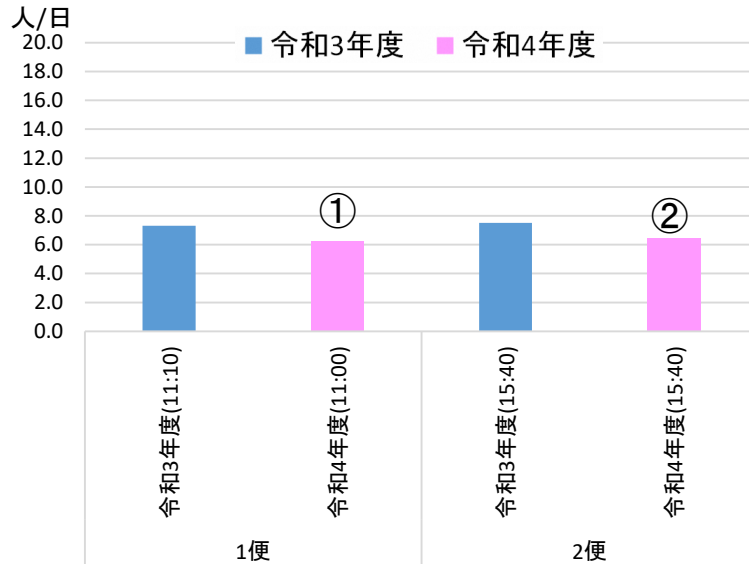
※市内循環バスぐるっとさん利用実績に基づき集計

4 循環バスぐるっとさん利用実績

(2)利用者数の詳細分析(令和4年度路線再編後と令和3年度の比較)

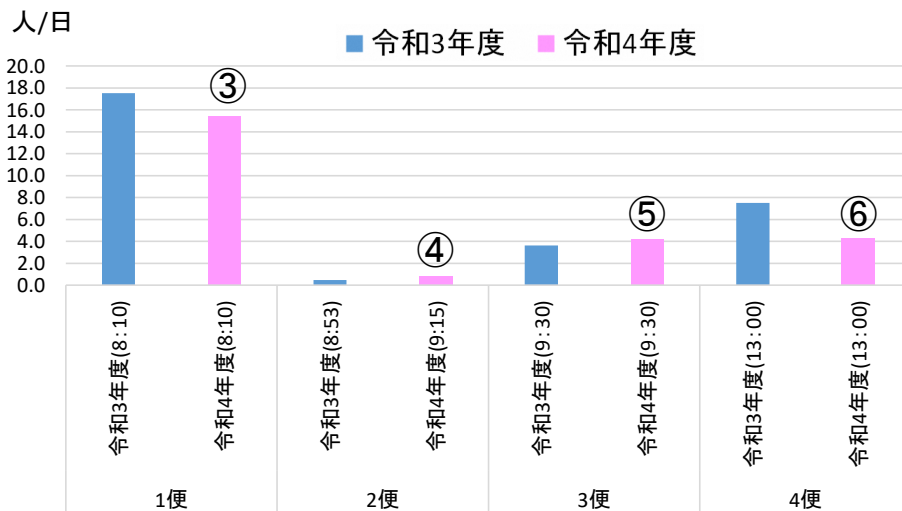
■三条循環線 地場産先回り(旧南コース)

三条循環線の運行時刻表はP. 10をご参照ください。



- 1便は時間変更を行ったが、利用者はほぼ横ばいで推移
- 2便についてもほぼ横ばいで推移

■三条循環線 大崎先回り(旧南コース)



- 通学時間帯にあたる8:10の1便は利用者数が多く、利用者はほぼ横ばい
- 2便は運行時間の変更を行ったが、利用者数は横ばい
- 3便は利用者が横ばい、4便は利用者が減少した

※市内循環バスぐるっとさん利用実績に基づき集計

4 循環バスぐるっとさん利用実績

(2)利用者数の詳細分析

■【参考】三条循環線 時刻表

〔変更点〕 8:43→ 9:15 燕三条駅発（燕方面弥彦線(9:10着)に合わせる…④）
11:10→11:00 東三条駅発（新設の燕三条ラインとの調整のため…①）

三条循環線(地場産先回り)	時間変更	時間変更	
東三条駅前	11:00	11:10	15:40
三条市役所	11:06	11:16	15:46
燕三条駅前	11:16	11:26	15:56
済生会三条病院	11:28	11:38	16:08
杉の子工房前	11:33	11:43	16:13
総合福祉センター	11:40	11:50	16:20
グッデイいきいきサポ ートセンター前	12:00	12:10	16:40
テクノスクール入口	12:02	12:12	16:42
三条東病院	12:09	12:19	16:49
東三条駅前	12:15	12:25	16:55

①

②

三条循環線(大崎先回り)	時間変更	時間変更	時間変更	時間変更
東三条駅前	—	8:10	—	9:30 13:00
三条東高校	—	8:17	—	—
テクノスクール入口	—	8:24	—	9:41 13:11
グッデイいきいきサ ポートセンター前	—	8:25	—	9:42 13:12
総合福祉センター	—	8:48	—	10:05 13:35
杉の子工房前	—	8:53	—	10:10 13:40
済生会三条病院	—	8:57	—	10:14 13:44
燕三条駅前	8:43	9:10	9:15	10:27 13:57
大学・専門学校前	8:49	—	9:21	—
三条市役所	9:02	9:18	9:34	10:35 14:05
東三条駅前	9:12	9:28	9:44	10:45 14:15

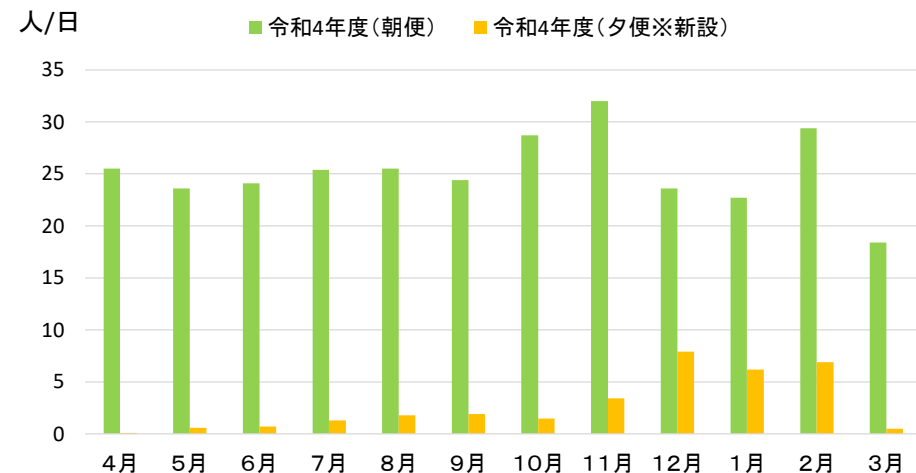
③

④

⑤

⑥

■三高・県央工業ライナー(R4.4から変更)



※市内循環バスぐるっとさん利用実績に基づき集計

- 県央工業高校を経由するよう運行経路を変更した。
- 夕方の復路便を新設したが、往路に比べて利用者数が少ない状況であるため、復路については高校生への周知をさらに強化することが必要

5 集計結果の考察と今後の対策

全体

- コロナ禍による利用者数減少の傾向が落ち着いてきたと考えられるが、いまだ利用者がコロナ禍前まで回復したとは言えない状況である。
- 今後も利用者数がコロナ禍前の状態まで回復しないことが予測されることから、状況を確認しつつ、以下に記載するような対応策を検討する。

デマンド交通ひめさゆり

- コロナ禍に入ってからからの平日の利用者数はコロナ禍前比で約20%減のまま推移。コロナ禍前の水準に回復させるためには、利用者への更なる周知やサービス改善を図る必要がある。
- ※ AIによる新たな予約・相乗りマッチングシステムの導入、即時予約(現在1時間前)の実現にかかる実証実験を今年度10月から市街地エリアで実施予定

高校生通学ライナーバス

- 令和4年度平均利用者数は令和3年度と比較して減少傾向にある。
- 福沢線についても利用者が減少している。
- 引き続き沿線の学生への周知を行い、利用者の維持を図る必要がある。
- 下田地域の輸送資源の活用(10月以降に実証実験を予定)により、来訪者の移動手段の確保と併せ、地域住民の移動の利便性向上と既存交通の運行効率化を図る。

5 集計結果の考察と今後の改善策

井栗地区コミュニティバス

- 利用者数についてはコロナ禍に入ってからほぼ横ばいの傾向となっている。住民の利用を促すためにも、自治会内でチラシを配布するなどの周知を促進し、地域の足を守っていくという意識の醸成に努める必要がある。
- 現在実施している地域主体のコミュニティバスの運行内容を他の地域でも実施できるよう、地元の利用ニーズ等を踏まえ検討していくことが重要である。

循環バスぐるっとさん

- R4.10の路線再編により、嵐北・嵐南線は利用者が増加傾向にある。
- 須頃地区における三条市立大学・専門学校の開学を受け、燕三条ラインを新設したところ、特に朝の通学に使われる往路便の利用者が多かった。令和6年3月に、県央基幹病院がオープンすることから、更なる利用者が見込まれるとともに、病院利用者のニーズを捉えて運行時刻及び運行頻度の変更が必要かどうかの検討を行う必要がある。
- 三高・県央工業ライナーは、新たに県央工業高校を経由するよう経路を変更するとともに、帰宅時の復路便を設定したものの、利用者が少ない状況のため、高校生への広報を強化し、引き続き十分な周知を行っていく必要である。
- 他の公共交通の利用状況も踏まえ、利用者の多い路線・便については、運行頻度の見直しを検討する。
- 今後のサービス維持や路線見直しを行うに当たり、利用者の個人属性や乗降データの把握が可能な乗降把握システムなどによる路線最適化検証の実施を検討する。